

発生！ 人・もの守れますか？

大地震などの大きな災害が発生したとき、あなたはどうしますか。何よりも大切なことは自分の身は自分で守るということです。自分の身の安全が確保できれば、家族、地域の人たちなどあなたの周りの人たちの救助をすることができます。そのためには、目頃から災害への備えや災害時にどう行動したらいいのかを確認しておくことが重要となります。

災害 大切な



被災地から学んだこと

総務課行政防災担当

リーダー 藤江 隆

私は、県の派遣要請を受け、昨年11月10日～16日までの7日間、川口町と長岡市に出向きました。

ご承知のとおり、川口町は新潟県中越地震の震源地であり、震度7を記録した町です。第一印象は、元通りに復旧するには何年かかるだろう？というものです。道路は波打ち、ひび割れ、陥没、液状化が起きており地盤沈下が町内全域で発生していて、通行不能の箇所がたくさんありました。さらには崖崩れもいたるところで発生しており、線路や道路を塞ぎ、田畑は土砂で覆い尽くされていました。

住民の多くは河川敷や神社の境内、公園などで避難生活を送っており、かなり疲れた様子がうかがえました。当然テントには水も電気もガスもありません。食事は炊き出しや配給で賄われ、給水車による水を使用し、トイレは仮設トイレを使用するという生活です。私もテレビの映像で被災地の様子を見ていますが、やはり実際の現場を目の当たりにしたとき、正直やりきれない切なさを感じました。

私は家屋の被害調査をしながら、被災された皆さんから多くのお話をお聞きすることができました。まず「家族が無事で良かった。」という声が圧倒的に多かったです。確かに地震により多大な損害を受け、苦しい避難生活を強いられていますが、最愛の家族を守ることができた喜びは何事にも替えがたいものであると話していました。次に「情報が入らなかった。家族の安否も分からず不安だった。」、「水が出ないのでトイレが使えなかった。」、「ガスが使えないため暖かいものが食べられなかった。」、「家具転倒防止をしておけばよかった。」、「隣近所と声を掛け合い励まし合った。」、「避難所以外へ避難している人には物資が届かなかった。」など、地震発生から1日以内の状況をまとめた声です。

また、避難生活を送るなかでも「余震が怖くて眠れない。」、「プライバシーがなくストレスがたまる。」などの心の問題、ライフラインの復旧、豪雪への対応、避難所の運営、マスコミの問題、家屋の解体又は補修について、衛生面の問題など、目の前に直面している計り知れない障害についての声が聞かれました。しかし、住民の皆さんは互いに協力し、この大災害を乗り越えようと真剣に話し合っていました。



7日間という短い期間でしたが被災地での生活を経験して、第一に、怪我もなく無事に災害を逃れることがどれだけ重要かを痛感しました。あなたとあなたの家族を守るためには、災害時のための家族会議や防災対策を普段から実行することが大切ではないでしょうか。

次に外からの救援・救助は数日たたないと活動が始まりません。災害が起きた時、真っ先に力を発揮するのは、被災現場にいる地域の人達です。新潟県中越地震の対応をみても、組織が充実している地域では、いざという時にリーダーの適切な指示や、地域住民の適切な防災行動により被害を少なくしています。災害を防ぐことはできませんが、被害を少しでも少なくする「減災」はできるはずです。

いつ起こるか分からない災害に備え、できることから始める、今できることをしておく。行動を起こすことが大切だと感じました。



大規模地震発生！あなたはどうしますか？

大規模地震が発生した場合、時間の経過とともに取るべき行動が変わってきます。発生直後はどうするのか、揺れが治まったら何をするのか。あらゆる場面を想定して防災対策をしておきましょう。

地震が発生

- 落ち着く
- 身の安全を確保する
- 火の始末をする
- 脱出口を確保する

地震が起きた直後は、机やテーブルに身を隠し、慌てて外に飛び出さないようにしましょう。また、火の元を確認し火を出さないようにしましょう。

揺れが治まったら

- 家族の安全を確保する
- 非常持出品を確保する
- 出火時は大声で知らせ、素早く消火する
- 正しい情報を入手する

我が身の安全確保ができたら、家族の安否確認をしましょう。デマなどにまどわされないで、ラジオ・防災行政無線などにより正しい情報を入手しましょう。

みんなの力で

- 近所の安否を確認する
- 協力し合い救出・救護をする
- 備蓄品でまかなう

個人での応急活動には限界があります。隣近所での声かけ・助け合いなどで被害を最小限に抑えましょう。また、食料・水などの備蓄をしておきましょう。

避難所生活になったら

- お互いに助け合う
- 健康維持に努める
- 危険箇所に近付かない

ライフラインの復旧に日数を要し、食料や水も満足に確保できません。まずは、生命の安全・健康維持を最優先に考えましょう。また、ルールを守り助け合いましょう。

※これはあくまでも目安です

『総合防災訓練』を実施します。

9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」です。この機会に、災害時に取るべき行動について家族で話し合い、いざという時の「できること」を増やし、一人ひとりの防災行動力を高めましょう。

そこで、市では、**9月4日(日)**に総合防災訓練を実施します。自主防災会、職場などで訓練を実施する場合には積極的に参加してください。

なお、訓練は午前7時から開始します。防災行政無線を使用しての一斉放送は午前8時頃からとなりますが、皆さんのご協力をお願いします。

〈メイン会場〉東桂小学校校庭

〈訓練内容〉避難・誘導訓練、初期消火訓練、救出・救護訓練、応急手当訓練、給水訓練、発電機操作訓練、簡易トイレ組立訓練、建物消火訓練、炊き出し訓練など

日ごろの備えが大切です

被害の未然防止と被害の軽減を図るため、次のことに心がけましょう。

○家庭での防災会議
ふだんから防災について話し合い、次の項目を確認して話

- ・ 家のまわりの危険箇所の確認
- ・ 避難場所、避難経路の確認
- ・ 家族間の連絡方法、おちあい場所
- ・ 幼児や高齢者の避難責任者
- ・ 非常持出品の点検と置き場所の確認
- ・ 家具などの転倒、落下防止対策など、家の内外の安全確認

災害時の安否確認は 声の伝言板「171」

NTTでは、災害時に電話で安否確認ができる「災害用伝言ダイヤル」を提供しています。

利用にあたっては「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。一般加入電話、公衆電話、携帯電話、PHSから利用できます。

録音・再生するには・・・

- ①「171」へダイヤルする
- ②録音は「1」、再生は「2」を
- ③自分(または相手)の電話番号を市外局番からダイヤルする
- ④メッセージを録音(再生)する

○家の補強
柱、土台、屋根瓦などの点検(できれば建物

○防災訓練
自主防災会などの防災訓練には積極的に参加し、防災行動力を身につける。

○非常持出品の準備
避難場所での生活に最低限必要なものを用意しておく
・ 2〜3日分の食料、飲料水などを備蓄しておく

○消火器などの備え
消火器や三角ばけつなどを用意しておく。

○家具などの転倒、落下防止
トメ金などで固定しておく。

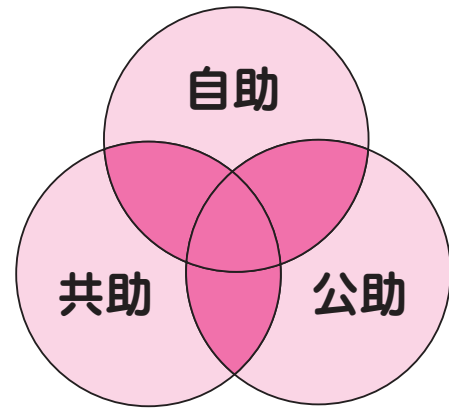
○ブロック塀、石塀の補強
鉄筋が入っていないものや、転倒防止の控壁を設けてあるか確認し、必要な対応をする。

○耐震診断を受けましょう。
をして、強度が不足している箇所は補強する。



防災倉庫に備蓄されているもの

浄水機、発電機、投光器本体、三脚、コードリール、毛布、簡易トイレ、ガソリン携行カン、ガソリン混合ボトル、医療セット、懐中電灯、電池式メガホン、ポリタンク、シート、一輪車、やかん、トイレットペーパー、割り箸、どんぶり、コップ、ほうき など



連携し
被害を最小限に！

災害の被害を最小限に抑えるためには、**自助・共助・公助**のそれぞれが連携を図ることが大切なことだといわれています。

「自助」とは、一人ひとりが自分自身を災害から守ることです。これが防災の基本となります。「共助」とは、地域で互いに協力し合い災害から守ることです。一人の力は小さくても、隣近所で力を合わせれば、大きな力となります。「公助」とは、市をはじめ、警

察、消防などの行政機関が住民を災害から守ることをいいます。

災害が発生した時、交通網の寸断、多発する火災などにより、公共機関が十分に対応できない場合があります。そんな時に力を発揮するのが、自助、共助です。

いざという時に備え、『自分、家族、地域は自分たちで守る』という意識のもと、自主防災会などを中心に防災活動に取り組みましょう。

非常持出品チェックリスト

とっさに持って逃げられる物（第1持出品）

貴重品	☐ 現金(5万円程度。お札と小銭を用意。小銭は金種別にフィルムケースに入れておくと便利)	衣類	☐ 下着、セーター、ジャンパー ☐ レインコート ☐ 軍手、手袋
証書類	☐ 預金通帳、印鑑 ☐ 各種保険証書、権利書 ☐ 免許証、健康保険証、パスポートなどのコピー	生活用品	☐ 洗面用具(歯ブラシセット) ☐ 生理用品、紙おむつ、ほ乳瓶 ☐ ごみ袋、トイレットペーパー ☐ 筆記用具、はさみ
非常食品	☐ 乾パン、缶詰 ☐ 飲料水 ☐ 粉ミルク、離乳食	その他	☐ 携帯電話 ☐ 携帯用ラジオ ☐ 懐中電灯、予備の電池 ☐ マッチ、ライター、ろうそく ☐ 時計
救急用品	☐ ばんそうこう、包帯、三角巾 ☐ 消毒薬、傷薬、解熱剤、胃腸薬 ☐ 爪切り、綿棒、カミソリ ☐ 体温計	連絡先	☐ アドレス帳 ☐ 個人情報カード

●知っていますか？あなたの避難場所●

- ①谷村工業高等学校校庭(上谷五丁目)・・・田原・楽山・上町・上天神町
- ②川棚営農指導センター(川棚)・・・川棚・旭ヶ丘
- ③谷村第一小学校校庭(上谷一丁目)・・・仲町・下町・高尾町・横町・栄町・城北町・田町・幸町・新町・下天神町・早馬町
- ④都留第二中学校校庭(四日市場)・・・寿町・弁天町・長者町・深田・新明町・新井・姥沢・鷹之巣・雇用促進住宅・羽根子・月見ヶ丘・四日市場・富士見台
- ⑤都留第一中学校校庭(法能)・・・熊井戸・緑町・下小野・中小野・権現原・西海戸・熊井戸団地
- ⑥住吉球場(法能)・・・法能・住吉町・日の出町
- ⑦都留文科大学附属小学校校庭(大野)・・・玉川・宮原・引の田・上戸沢・下戸沢・サントウン玉川・中野団地
- ⑧谷村第二小学校校庭(法能)・・・上小野・大津・下細野・上細野・菅野
- ⑨東桂小学校校庭(桂町)・・・十日市場・蒼竜峽団地・桂町・下夏狩・上夏狩
- ⑩東桂中学校校庭(桂町)・・・鹿留古渡・鹿留宮下・鹿留沖・境
- ⑪禾生第一小学校校庭(古川渡)・・・古川渡・川茂・井倉・九鬼団地・井倉団地・サントウン井倉
- ⑫禾生第二小学校校庭(小形山)・・・田野倉・田野倉団地・小形山
- ⑬宝小学校校庭(大幡)・・・金井・中津森・上大幡・下大幡・高畑・サントウン宝・サントウン平栗
- ⑭宝小学校旧平栗分校跡広場(平栗)・・・厚原・平栗・加畑
- ⑮与縄営農指導センター(与縄)・・・与縄日影・与縄日向・与縄上手
- ⑯旭小学校校庭(朝日馬場)・・・馬場第一・馬場第二・神門・久保・曾雌第一・曾雌第二・大平・朝日団地